

平成31年度 長期研修員

# 募集要項

< 学校用 >

## 冊子の内容

平成31年度 長期研修員募集要項(小・中学校用, 県立・市立学校用) …	1
平成31年度 長期研修員の種別・定員(資料1) …	3
願書(様式1) …	4
履歴書(様式2) …	5
履歴書の記入要領 …	6
研修歴等参考資料(様式3) …	7
研修員として研修したいこと(様式4) …	8
専門研究・長期研修B推薦書<校長, 市町村教育長>(様式5) …	9
長期研修A課題案<県立・市立高等学校>(様式7-2) …	10

宮城県総合教育センター

## 平成31年度 長期研修員募集要項 市町村立小・中学校

### 1 趣 旨

長期研修は、教育に関する専門的事項について広く研修するとともに、学習指導要領や本県の教育課題等を踏まえた研究を行うことにより、長期研修員の資質と専門性の向上を図り、併せてその研究成果を教育現場に生かすことで本県教育の充実を目指す。

### 2 募集の概要

募集する種別、期間、研究・研修の内容、対象者については「平成31年度 長期研修員の種別・定員」(資料1)を参照する。

### 3 専門研究・長期研修Bへの応募の方法

(1) 募集要項は宮城県総合教育センターホームページからダウンロードする。

(2) 応募者は、次の ~ の書類を校長に提出する。

願書(様式1)

履歴書(様式2)

研修歴等参考資料(様式3)

研修員として研修したいこと(長期研修Bのみ)(様式4)

(3) 市町村立小・中学校長は、「推薦書(様式5)」を作成し、応募書類 ~ とともに、平成30年10月4日(木)までに、市町村教育委員会教育長に提出する。

(4) 市町村教育委員会教育長は、校長が提出した「推薦書(様式5)」に必要事項を記入の上、応募書類 ~ とともに、小・中学校については、平成30年10月18日(木)までに教育事務所長に、市立高等学校については、平成30年11月1日(木)までに親展扱いで宮城県総合教育センター所長に提出する。

(5) 教育事務所長は、「推薦書(様式6)」に必要事項を記入の上、市町村教育委員会教育長の提出した「推薦書(様式5)」を添え、応募書類 ~ とともに親展扱いで平成30年11月1日(木)までに、宮城県総合教育センター所長に提出する。

### 4 応募上の留意点

(1) 長期研修Aについては、教育事務所推薦による応募のみとする。

(2) 次の者については、応募を認めない。

通信教育を受けている、又は受ける予定の者

教職大学院、内地留学、中央研修、海外研修等で研修した者、又は応募中・応募予定の者

今年度、長期研修員である者

### 5 長期研修員の決定通知

市町村立小・中学校にあっては教育事務所長、市町村教育委員会教育長を通して校長に、2月下旬までに通知する。

### 6 長期研修員の研修に係る交通費等及び代替措置(県費負担職員)

(1) 研修期間中は宮城県総合教育センターを勤務公署とみなし、職員の給与に関する条例の規定に基づく通勤手当及び住居手当(研修のために住居を新たに借り受けた場合)を支給する。

このことに伴い、従来支給されていた当該手当の支給は停止になる。また、宮城県総合教育センター以外の場所での研修等については、職員等の旅費に関する条例に基づく旅費を支給する。

(2) 専門研究、長期研修Aには、研修期間の必要となる期間において、講師等を代替措置する。

### 7 その他

(1) 応募関係書類は、返却しない。

(2) 不明な点は、宮城県総合教育センター研究推進第一班(長期研修担当 022-784-3549)に問い合わせるものとする。

## 平成31年度 長期研修員募集要項 県立学校・市立高等学校

### 1 趣 旨

長期研修は、教育に関する専門的事項について広く研修するとともに、学習指導要領や本県の教育課題等を踏まえた研究を行うことにより、長期研修員の資質と専門性の向上を図り、併せてその研究成果を教育現場に生かすことで本県教育の充実を目指す。

### 2 募集の概要

募集する種別、期間、研究・研修の内容、対象者については「平成31年度 長期研修員の種別・定員」(資料1)を参照する。

### 3 専門研究・長期研修Bへの応募の方法

- (1) 募集要項は宮城県総合教育センターホームページからダウンロードする。
- (2) 応募者は、次の ~ の書類を校長に提出する。
  - 願書(様式1)
  - 履歴書(様式2)
  - 研修歴等参考資料(様式3)
  - 研修員として研修したいこと(長期研修Bのみ)(様式4)
- (3) 県立学校長は、「推薦書(様式5)」を作成し、応募書類 ~ とともに親展扱いで平成30年11月1日(木)までに、宮城県総合教育センター所長に提出する。
- (4) 市立高等学校長は、「推薦書(様式5)」を作成し、応募書類 ~ とともに親展扱いで平成30年10月4日(木)までに、市町村教育委員会教育長に提出する。

### 4 長期研修Aの報告方法

長期研修Aを希望する県立学校長、市立高等学校長は、「長期研修A課題案(様式7-2)」を添え、学校代表者として長期研修Aに取り組む教員に係る、履歴書(様式2)、研修歴等参考資料(様式3)とともに親展扱いで平成30年11月1日(木)までに、宮城県総合教育センター所長に提出する。

### 5 応募上の留意点

次の者については、応募を認めない。

- (1) 通信教育を受けている、又は受ける予定の者
- (2) 教職大学院、内地留学、中央研修、海外研修等で研修した者、又は応募中・応募予定の者
- (3) 今年度、長期研修員である者

### 6 長期研修員の決定通知

市立高等学校にあっては市教育委員会を通して校長に、県立学校にあっては校長に2月下旬までに通知する。

### 7 長期研修員の研修に係る交通費等及び代替措置(県費負担職員)

- (1) 研修期間中は宮城県総合教育センターを勤務公署とみなし、職員の給与に関する条例の規定に基づく通勤手当及び住居手当(研修のために住居を新たに借り受けた場合)を支給する。  
このことに伴い、従来支給されていた当該手当の支給は停止になる。また、宮城県総合教育センター以外の場所での研修等については、職員等の旅費に関する条例に基づく旅費を支給する。
- (2) 専門研究、長期研修Aには、研修期間の必要となる期間において、講師等を代替措置する。

### 8 その他

- (1) 応募関係書類は、返却しない。
- (2) 不明な点は、宮城県総合教育センター研究推進第一班(長期研修担当 022-784-3549)に問い合わせるものとする。

## 平成31年度 長期研修員の種別・定員

宮城県総合教育センター

種別	期間	研究・研修の内容等	定員
専門研究	1年 (4月~翌年3月)	<p>「新学習指導要領」及び「宮城県第2期教育振興基本計画」に基づき、学校教育や教育行政の抱える今日的教育課題に応える実践的・先導的な研究を指導主事と共同で推進し、各学校・教育行政機関等に具体的な提言を行う。総合教育センターが定めた次の研究領域より一つ選び、課題の解決に取り組む。</p> <p>研究領域</p> <p>「外国語活動」に関する研究 全面実施される小学校外国語活動・外国語について、中学校・高等学校との接続を見据えて研究する。</p> <p>「道徳教育」に関する研究 道徳教育の要としての特別の教科道徳について研究する。</p> <p>「理科教育」に関する研究 理科授業の留意点や教材の活用法などについて研究する。</p> <p>「情報教育」に関する研究 各校種の教科指導におけるICT活用について研究する。</p> <p>「特別支援教育」に関する研究 全校種における通級指導について研究する。</p>	<p>定員 20名</p> <p>義務校 15名</p> <p>県立校 5名</p>
長期研修A	6か月 (4月~9月)	<p>学校や地域の課題を踏まえた実践的・教材開発的研究やカリキュラム開発に取り組む。</p> <p>公立小・中学校については、教育事務所の推薦を受けた学校の代表者が、県立学校については、希望する学校の代表者が長期研修員となる。前期(4月~9月)はセンターで研修し、後期は所属校で研修成果の検証を行う。検証についても指導主事が指導・助言を行い、学校を支援する。公立小・中学校については市町村教育委員会の担当者も指導・助言に当たる。</p> <p>研究領域</p> <p>各教科、特別の教科道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動、生徒指導、教育相談、進路指導、特別支援教育(事例研究、特別支援教育推進に係る研究)、情報モラル教育、防災教育 等</p>	<p>定員 9名</p> <p>義務校 7名</p> <p>県立校 2名</p>
長期研修B	年間20日 (4月~翌年3月)	<p>次の研修領域より一つ選び、研修テーマを設定し、学習指導案の作成や模擬授業の実践を通して、授業づくりに関わる課題の解決に取り組む。</p> <p>所属校において、年2回授業実践を行う。指導主事が授業実践を参観し、指導・助言を行う。</p> <p>研修領域</p> <p>各教科、特別の教科道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動、特別支援教育(通級・通常の学級における指導も含む)、情報モラル教育、防災教育</p>	<p>定員 9名</p> <p>義務校 7名</p> <p>県立校 2名</p>

(様式1)

# 願 書

平成30年 月 日

宮城県総合教育センター所長 殿

学 校 名

職・氏名

印

私は、平成31年度宮城県総合教育センター(専門研究・長期研修B)に応募したいので必要書類を添えて申し込みます。

( )のうち、応募する研究種別を で囲むこと。

< 研究領域等記入欄 >

## 1 専門研究

### 研究領域

- (1)「外国語活動」に関する研究 (2)「道徳教育」に関する研究  
(3)「理科教育」に関する研究 (4)「情報教育」に関する研究  
(5)「特別支援教育」に関する研究

研究領域		
第1希望	第2希望	第3希望

希望する研究領域を第2希望まで必ず記入すること。(様式4)の提出は不要

## 2 長期研修B

### 研修領域

各教科，特別の教科道徳，外国語活動，総合的な学習の時間，特別活動，特別支援教育(通級・通常の学級における指導も含む)，情報モラル教育，防災教育

研修領域	
第1希望	第2希望

特別支援教育を希望する場合は，第1希望のみも可とする。研修の具体的な内容を(様式4)に記入する。

(様式2)

履 歴 書					
ふりがな 氏 名	印	性 別	生年 月日	H S 年 月 日生  (H31年3月末現在： 歳)	
職員番号					
現住所 電 話	〒				
元 号	年	月	日	学 歴 ・ 職 歴 ・ 賞 罰 等	発 令 庁
教員免許取得年月日				教 員 免 許 状	発 令 庁

上記のとおり相違ないことを証明する

平成30年 月 日

学校名

校長名



## 履 歴 書 の 記 入 要 領

履歴書は、下記の記入例を参考にして、簡潔に記入する（ワープロ作成可）。

〔留意点〕 学歴は、出身大学卒業から記載  
 学歴・職歴は、古い順（ただし、アルバイト、在宅等は不要）  
 教員免許状は、取得年月日と種類

（記入例）

元 号	年	月	日	学 歴 ・ 職 歴 ・ 賞 罰 等	発 令 庁
昭 和	*	*	*	大学 学部 科卒業（修業年限 年）	学 長
〃	*	*	*	株式会社 販売促進課 勤務	
平 成	*	*	*	大学通信教育受講（修業年限 年）	
〃	*	*	*	町立 小学校（講師）	宮 教 委
〃	*	*	*	町立 小学校（教諭）	〃
〃	*	*	*	町立 小学校（教諭）	〃
〃	*	*	*	町立 小学校（教諭）	〃
教員免許取得年月日				教 員 免 許 状	発 令 庁
昭 和	*	*	*	中学校教諭 1 種普通免許状（社） 昭**中-普第**号	宮 教 委
平 成	*	*	*	小学校教諭 1 種普通免許状 平**小-普第**号	〃

上記のとおり相違ないことを証明する

平成 3 0 年 月 日

学校名

校長名

印

(様式3)

### 研修歴等参考資料

学校名

職・氏名

#### 1 主な研修歴 (\*最近のものからさかのぼって記入)

	年 度	研 修 ・ 講 座 名	機 関 名
1			
2			
3			

#### 2 主な研究歴 (\*最近のものからさかのぼって記入。研究指定校の経験等も記入)

	年 度	研 究 テ ー マ	研 究 ( 実 践 ) の 概 要	発 表 の 機 会
1				
2				
3				

#### 3 得意とする教科等, 分野等

--

#### 4 主たる校務分掌等

学 部 ・ 学 年 ・ 教 科 等	主 たる 校 務 分 掌	主 任 等 は 印

#### 5 長期研修等の経験

( あり ( ) ない ( ) )	あ る 場 合	( ) 年 度
	種 別 ( ) 機 関 ( )	

#### 6 過去の長期研修等の応募状況 ( 今回の応募を除く。)

年 度	平 成 ( )	平 成 ( )	平 成 ( )	平 成 ( )
種 別 ( 機 関 )	( )	( )	( )	( )

5, 6の機関には, 特別支援教育センター(特セ)・教育研修センター(研セ)・総合教育センター(総セ)等と記入する。

#### 7 特別支援教育の経験 (特別支援教育を希望する場合, 特別支援学校勤務, 特別支援学級・通級指導担当の経験について記入)

担 当 期 間 ( 年 数 )	~ ( 年 )	~ ( 年 )	~ ( 年 )	~ ( 年 )
学 校 名 ( 障 害 種 別 )	( )	( )	( )	( )





(様式5)

## 専門研究・長期研修B推薦書

平成30年 月 日

宮城県総合教育センター所長 殿

下記の者について、宮城県総合教育センター長期研修員として適当と認められるので推薦します。

記

1 職名・氏名

2 推薦する種別

専門研究

長期研修B

いずれかを で囲む

3 校長推薦理由

学校名

印

校長名

4 教育長推薦理由

教育委員会名

教育長名

印

3は、推薦する種別及び研究・研修内容を踏まえて、具体的に記述してください。

4は、市町村立学校にあっては、市町村教育委員会教育長が推薦理由を記述してください。  
県立学校にあっては、記述不要です。

(様式 7 - 2)

< 県立学校・市立高等学校用 >

## 長期研修 A 課題案

平成 30 年 月 日

宮城県総合教育センター所長 殿

学校名

校長名



平成 31 年度 宮城県総合教育センター長期研修 A の対象教員・課題案は、下記のとおりです。

記

対象教員 職・氏名	.
課 題 案	研究領域 (領域が限定できない場合は空欄)  地域 (学校) の課題  研究したい内容 (研究の切り口と目指す生徒の姿等を示す)